



令和5年度

横浜市立生麦小学校

# 学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



1月(睦月)

大きくはばたく春に向けて

校長 小倉 孝行

令和6年、新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興と、一日も早く安心して平穏な生活に戻れますことを心よりお祈り申し上げます。保護者の皆様には一斉メールをしましたが、こうした突然の事故や事件を身近に経験した場合だけでなく、報道等を通じて間接的に見聞きした際にも、子どもたちの気持ちや行動に変化が現れることがあります。心配な状態が続いたり、対応に迷ったりした場合は、遠慮なく学校にご相談ください。

いよいよ、後期後半になり、各学年とも締めくくりの時期に入りました。今年度を振り返り、子どもたちが家族や地域の皆様からの支えがあって元気に暮らしているという感謝の気持ちや、この一年間の仲間とのかかわりにありがとうという気持ちをもって次年度につなげてほしいと考えています。子どもたちのがんばりを認め、励まし、一人ひとりの成長を見守りながら、取り組んで参ります。大きくはばたく春に向けて、これまで通り皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新年にあたり改めて学習面、生活面等について学校が大切にしている取組(概要)を載せました。保護者の皆様、地域の皆様、教職員で、一緒に子どもたちの成長をめざしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

【行事では】 ◎子どもが主役となり、子どもが満足感、達成感を得られる取組をします。

- ・たてわり活動、ペア活動、体験活動を重視し、子ども同士のかかわりを大切にします。
- ・行事の意識付けを丁寧に行います。また当日まで気持ちが高まっていくように繰り返し励ましていきます。
- ・取組後の振り返りの場面を大切に、子どもの成長を褒めます。そして今後の学校生活や、次の取組の弾みになるよう新たな目標を提示し、意識付けをしていきます。

【学習面では】 ◎授業を通し、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力などを高めます。

- ・一人ひとりの意見を大切に、「間違っても大丈夫」という温かい雰囲気を作ります。
- ・子ども自身が「考えたい」「話したい」「聞きたい」と思う授業をめざします。
- ・自ら課題や疑問を見つけ、既に学習した知識や話し合いなどを通して、自分たちの力で解決しようとする過程を大切にします。
- ・ICTを活用し、学習内容をよりわかりやすく子どもに伝えるとともに、子ども自らが課題を調べたり、表現したりする場面を作ります。
- ・子ども一人ひとりが「できた」「わかった」と感じる授業をめざします。
- ・心と体のバランスや成長、健康に取り組みます。体を動かす時間を大切にします。

【生活面では】

- ◎「問題行動が起きにくい風土づくり」、「いじめ・暴力・差別等を絶対に許さない風土づくり」をします。
- ◎教育活動全体を通して、自己有用感の高い子どもを育てます。
- ・教職員が率先して、明るく、元気のいい「あいさつ」をします。
- ・いじめ、暴力、差別等は何があっても許されないことを、子どもが理解できるように伝えます。
- ・子どもへの積極的な声かけや面談をします。そして保護者との連携を図ります。
- ・悩みや不安について「あなたを守り抜く」「どの先生に伝えても大丈夫」ということを伝え、安心して相談できる雰囲気を作ります。
- ・当たり前のことでも、子どもができていところを見つけ、褒めたり、勇気づけたりします。
- ・子ども同士で、互いの良さを認め合う授業や場面を作ります。
- ・人権教育を重視し、自分を大切にするとともに、他の人を大切にすることを学習します。
- ・道徳の授業では、読み物等から子ども同士で考えを伝えあい、生命を大切にすることや、他人を思いやる心、善悪の判断など規範意識等を身に付けられるよう指導します。

冬休み中、「生麦学び・遊び場の会」の皆様には2・3・4年生を対象に学習会を開いていただき、歌や遊びも教えていただきました。ありがとうございました。

報道でもありました「大谷翔平選手によるグローブの寄附」について、教育委員会によると1月下旬ごろ教育委員会事務局に届く予定とのことです。子どもたちに紹介できるのはそれ以降となります。